



ポスターセッションで「森林破壊によって起こる環境問題」などについて説明する葛巻小5年生

もったいないが合言葉 仲間と取り組む葛巻小

葛巻小学校（長谷川滋校長、児童223人）は11月14日、2回目の省エネ集会を開きました。今回は、省エネモデル校に指定されている八戸市の白山台小学校6年生86人が同校を訪れ、地球の現状や省エネの大切さについて共に考えました。

第1部はポスターセッションの形で行われ、葛巻小3年生から5年生が学年ごとに調べた資料を掲示し、学習成果を発表しました。第2部の6年生のステージ発表では、自分たちの生活を振り返り「誰もいない教室や廊下の電気を消す」「給食はなるべく残さない」など7つの省エネプランを掲げ、「もったいない」を合言葉に全校での取り組みを訴えました。

晩秋の一日晴れやかに 北部のスポーツ文化祭

北部地区スポーツ文化祭（同実行委員会主催）は10月30日、旧星野小学校と星野生活改善センターで開かれました。

開会式では、本地孝見実行委員長があいさつした後、選手宣誓やラジオ体操が行われ、競技への準備も万全。各地区の対抗戦で大縄とび、カゴボール入れ尻圧リレー、丸太切りなど6種類の競技が行われました。勝負をかけたハッスルプレーに会場は大いに盛り上がりました。自由展示コーナーは、地区民の手芸品やみごとな盆栽、菊などが並べられ、訪れた人の目を楽しませました。田楽もちや豚汁の飲食コーナーも大盛況で、約400人が晩秋の一日を存分に楽しみました。



汗をたっぷりかいた「丸太切り競技」



感動の地球のステージ

公演は、世界52カ国で医療救援活動を行っている桑山紀彦さんが、映像と語りと歌で世界の現状を伝えました。それぞれの地域で、逆境にめげず、たくましく生き抜く人間の姿も映し出し、日本の恵まれた生活などについて考える機会となりました。



式典であいさつする柴田会長と表彰された歴代の役員の方々

ど、その時代の地域の課題に取り組み、町勢の発展を支えてきました。

五十周年を振り返り、柴田会長は「命と暮らしとふるさとを組織の力で守ろうをスローガンに掲げ、今後も地域の課題と向き合い、積極的に協働のまちづくりを進めたい」とあいさつしました。また、歴代の役員十二人には、会長から感謝状が贈られました。

式典後は、記念公演「地球のステージ」が催され、一般参加者も鑑賞しました。